

# 事業報告書

## 2019年度（第10期）事業報告

2019年4月1日から

2020年3月31日まで

1. 役員等に関する事項
2. 理事会、評議員会及び諮問委員会に関する事項
3. 公益目的事業に関する事項
4. 寄附に関する事項
5. 行政庁に関する事項

## 1. 役員等に関する事項

### (1) 役員に関する事項

2019年度には理事の改選はなかった。任期は2020年度定時評議員会終結時迄である。代表理事（理事長）として持田直幸理事、代表理事（副理事長）として青木誠理事、業務執行理事（常務理事）として中村民夫理事が引き続き職務を行った。

#### 【理 事】

持田 直幸、青木 誠、磯村 八州男、井上 圭三、小澤 敬也、岸本 忠三、猿田 享男、首藤 紘一、白土 邦男、谷口 克、中尾 一和、永井 良三、橋田 充、矢崎 義雄、中村 民夫

2019年度には監事の改選はなかった。任期は2020年度定時評議員会終結時迄である。

#### 【監 事】

酒井 敏彦、堀江 利治

### (2) 評議員に関する事項

2019年度には評議員の改選はなかった。任期は2022年度定時評議員会終結時迄である。山口建評議員が引き続き評議員会会長の職務を行なった。

#### 【評議員】

山口 建、金丸 和弘、小柳 豊基、坂田 中、匂坂 圭一、中西 和俊、宮内 忍

### (3) 選考委員に関する事項

2019年度は谷口克選考委員が引き続き選考委員長の職務を行った。

なお、2020年2月21日の第30回理事会において、2020年度の選考委員19名が以下の通り選任された。任期は2020年4月1日から2021年3月31日迄である。谷口克選考委員が引き続き選考委員長として選定された。

#### 【選考委員】

非開示

#### (4) 諮問委員に関する事項

2019年度は高津聖志諮問委員が引き続き諮問委員長職務を行なった。

なお、2019年度には諮問委員の改選があり、2020年2月21日の第30回理事会において諮問委員30名が以下の通り選任された。任期は選任後2年以内に終了する事業年度のうち、最終のものに関する諮問委員会最終時迄である。

##### 【諮問委員】

高津 聖志、審良 静男、井上 純一郎、門脇 孝、熊ノ郷 淳、小室 一成、小安 重夫、  
清水 孝雄、杉山 雄一、清野 進、高柳 広、中山 俊憲、成宮 周、西川 伸一、  
平野 俊夫、深見 希代子、福田 恵一、細谷 龍男、間野 博行、水口 清、山口 建、  
山崎 力、湯浅 博昭、吉村 昭彦、渡邊 裕司（以上再任）  
赤羽 悟美、天谷 雅行、一條 秀憲、伊藤 浩、高倉 喜信（以上新任）

## 2. 理事会、評議員会及び諮問委員会に関する事項

### (1) 第28回理事会（2019年5月17日開催）

議 題	審議内容
<決議事項>	
1) 2018年度事業報告書承認の件	<p>2018年度事業報告の内容について以下の6項目について説明がなされた。</p> <p>(1) 役員等に関する事項  (2) 理事会、評議員会及び諮問委員会に関する事項  (3) 公益目的事業に関する事項  (4) 寄附に関する事項  (5) 行政庁に関する事項  (6) 事業報告の附属明細書</p> <p>第1号議案と第2号議案は関連性があるため、議長の提案により両議案をまとめて審議することとした。</p>
2) 2018年度決算報告書（計算書類等）承認の件	<p>2019年3月31日現在の貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書及び財産目録の内容に基づき、当財団の損益及び財産の状況について説明がなされた。次いで、酒井敏彦監事及び堀江利治監事によって実施された監査について、監事を代表して酒井敏彦監事より監査結果として理事の業務の執行は適正に行われており、かつ事業及び決算報告書は適正に作成されていることを認める旨の報告の後、第1号議案と第2号議案はまとめて審議され、原案通り承認された。</p>
3) 定期提出書類承認の件	<p>内閣府公益認定等委員会へ提出義務のある2018年度事業報告等に係る提出書類について原案通り承認された。</p>
4) 第19回評議員会（定時評議員会）招集の件	<p>第19回評議員会（定時評議員会）の日時、場所、会議の目的事項が原案通り承認された。</p>
5) 2019年度研究者招聘助成金交付対象学会承認の件	<p>申請のあった研究者招聘助成14件全ての採択が原案通り承認された。</p>

<報告事項>	
1) 寄附受け入れの件	公益目的事業会計費用として20万円の寄附があった旨の報告があった。
2) 2018年度研究者招聘助成における招聘対象研究者の変更に関する件	第3回自然リンパ球国際学会において招聘研究者を変更した旨の報告があった。

**(2) 第19回評議員会（定時評議員会）（2019年6月7日開催）**

議 題	審議内容
<決議事項>	
1) 議事録署名人選出の件	議事録署名人として金丸和弘評議員及び宮内忍評議員の2名を選出した。
2) 2018年度決算報告書（計算書類等）承認の件	2019年3月31日現在の貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書及び財産目録の内容に基づき、当財団の損益及び財産の状況について説明がなされた。次いで、酒井敏彦監事及び堀江利治監事によって実施された監査について、酒井敏彦監事より監査結果として理事の業務の執行は適正に行われており、かつ事業及び決算報告書は適正に作成されていることを認める旨の報告の後、2018年度決算報告書が原案通り承認された。
<報告事項>	
1) 2018年度事業報告の件	第28回理事会で承認された2018年度事業報告の内容について以下の6項目について報告があった。 (1) 役員等に関する事項 (2) 理事会、評議員会及び諮問委員会に関する事項 (3) 公益目的事業に関する事項 (4) 寄附に関する事項 (5) 行政庁に関する事項 (6) 事業報告の附属明細書
2) 定期提出書類の件	第28回理事会で承認された内閣府公益認定等委員会へ提出義務のある2018年度事業報告等に係る提出書類について報告があった。

3) 2019年度研究者招聘助成金交付対象学会の件	第28回理事会で承認された2019年度研究者招聘助成14件について報告があった。
4) 寄附受け入れの件	公益目的事業会計費用として20万円の寄附があった旨の報告があった。

### (3) 臨時理事会 (2019年6月11日)

※定款第51条第2項に基づく決議の省略

議 題	審議内容
持田製薬(株)株主総会議案の件	<p>持田製薬(株)株主総会議案に対する下記の中村民夫理事の提案に対し、議決に加わることが出来る理事の全員から文書により同意を、また監事から文書により異議が無い旨の意思表示が得られた。</p> <p>“第1号議案 剰余金の処分の件” に関しては異論なし</p> <p>“第2号議案 取締役10名選任の件” に関しては各取締役とも適任</p> <p>“第3号議案 監査役2名選任の件” に関しては監査役候補者2名とも適任</p> <p>“第4号議案 当社株式の大規模買付行為に関する対応方針 (買収防衛策) 承認の件” に関しては買収行為への対応方針は適切</p>

### (4) 第29回理事会 (2019年9月13日開催)

議 題	審議内容
<決議事項>	
1) 2019年度研究助成金及び留学補助金交付対象者並びに交付金額の決定の件	<p>選考委員長より選考委員会の選考結果の報告があり、研究助成金(121件)及び留学補助金(20件)の交付対象者ならびに交付金額(研究助成金:300万円/名、総額3億6,300万円。留学補助金50万円/名、総額1,000万円)が承認された。また、留学補助金交付対象者については辞退も考えられることから、次点者、次々点者を設定し、繰り上げて交付対象者とする事も承認された。</p>

2) 2019年度褒賞（持田記念学術賞）受賞対象者並びに贈呈金額の決定の件	選考委員長より選考委員会の選考結果の報告があり、浦野泰照氏と竹田潔氏に持田記念学術賞（副賞：1,000万円/名、総額2,000万円）を贈呈することが承認された。
<報告事項>	
1) 理事長、副理事長その他の代表理事及び常務理事の職務執行に関する件	2019年1月1日から8月31日までの理事長、副理事長及び常務理事の職務執行について各々報告があった。

(5) 第17回諮問委員会（2020年2月21日開催）

議 題	審議内容
<決議事項>	なし
<報告事項>	
1) 2020年度事業計画の件	第30回理事会において審議される2020年度の事業計画について報告があった。
2) 2020年度予算の件	第30回理事会において審議される2020年度予算について報告があった。
3) 2020年度選考委員及び選考委員長の件	第30回理事会にて審議される新任選考委員候補2名及び選考委員長候補を含めた2020年度選考委員候補19名について報告があった。
4) 次期諮問委員の件	第30回理事会において審議される新任諮問委員候補5名に再任25名を合わせて次期諮問委員候補30名について報告があった。

(6) 第30回理事会（2020年2月21日開催）

議 題	審議内容
<決議事項>	
1) 2020年度事業計画承認の件	2020年度の事業計画について以下の説明がなされた。  *助成事業 【研究課題の件】 2020年度の研究助成金等の募集研究課題を6研究課題とする。

- (1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究
- (2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能／病態解析に関する研究
- (3) 免疫／アレルギー／炎症の治療ならびに制御に関する研究
- (4) 循環器／血液疾患の病態解析／治療制御に関する研究
- (5) 創薬・創剤の基盤に関する研究
- (6) 創薬とその臨床応用に関する研究

**【採択件数・贈呈交付金額の件】**

- (1) 研究助成は115件以内を採択し、1件あたり300万円とし、その予算を3億4,500万円とする。
- (2) 学術賞（褒賞）は2件以内を採択し、1件あたり副賞1,000万円とし、その予算を2,000万円とする。
- (3) 留学補助は20件以内を採択し、1件あたり50万円とし、その予算を1,000万円とする。
- (4) 研究者招聘助成は14件以内を採択し、1件あたり50万円とし、その予算を700万円とする。

**【募集期間・選考・贈呈式の件】**

- (1) 研究助成の公募期間は3月2日から5月7日迄とし、留学補助の公募期間は3月2日から5月13日迄とし、持田記念学術賞の推薦期限を5月18日とした。
- (2) 研究助成金及び留学補助金交付対象者並びに学術賞候補者は9月11日の選考委員会で候補者を内定し、同日に開催される理事会で決定する。
- (3) 研究者招聘助成は3月2日から4月10日迄の申請期間で、5月22日の理事会で決定する。
- (4) 贈呈式は11月12日に開催する。



	<p>*主要会議の開催</p> <p>【主要会議の開催の件】</p> <p>評議員会は2020年6月12日、2021年3月12日の2回開催。</p> <p>理事会は2020年5月22日、9月11日、2021年2月19日の3回開催。</p> <p>諮問委員会は2021年2月19日の1回開催。</p> <p>選考委員会は2020年9月11日の1回開催。</p> <p>第1号議案と第2号議案と第3号議案は関連性があるため、議長の提案により3議案をまとめて審議することとした。</p>
2) 2020年度予算承認の件	<p>2020年度予算について以下の説明がなされた。</p> <p>公益目的事業会計においては、2020年度の経常収益は持田製薬株の株式4,688,674株の受取配当金3億7,509万円（1株あたりの配当を80円として計算）のうち6,664万円と、定期預金等の受取利息13万円と公益事業準備資金3億3,300万円を取崩し、法人会計からの他会計振替した公益目的事業準備資金積立預金の1,000万円を主な収益として収益総額は4億1,000万円となる。経常費用総額は4億1,000万円であり、その経常増減額はゼロとなり収支相償を満たす計画である。</p> <p>法人会計の収益は持田製薬株の株式100万株の受取配当金8,000万円を見込んでおり（1株あたりの配当を80円として計算）、法人会計における費用は5,214万円を計画している。</p>

<p>3) 40周年記念助成金等準備資金（4号財産）の積立承認の件</p>	<p>40周年記念助成金等準備資金（4号財産）の積立について以下の説明がなされた。</p> <p>目的として2023年度に財団設立40周年を迎えるため、2023年度に使用する40周年記念助成金等、40周年記念助成事業等を実施するための公益目的事業会計費用及び法人会計管理費として積立てること。</p> <p>加えてその管理方法、取崩す場合の手続き、1億円を積立て限度額とすること、備置資料に追加すること等、特定費用準備資金の5要件を満たす旨の説明がなされ。</p> <p>その後、第1号議案と第2号議案と第3号議案はまとめて審議され、原案通り承認された。</p>
<p>4) 定期提出書類承認の件</p>	<p>内閣府公益認定等委員会へ提出義務のある2020年度事業計画書及び収支予算等に関する定期提出書類について原案通り承認された。</p>
<p>5) 2020年度選考委員及び選考委員長承認の件</p>	<p>新任選考委員2名に再任17名を合わせて19名の選任及び選考委員長として谷口克選考委員の選定が原案通り承認された。</p>
<p>6) 次期諮問委員承認の件</p>	<p>新任諮問委員5名に再任25名を合わせて次期諮問委員30名の選任が原案通り承認された。</p>
<p>7) 第20回評議員会招集の件</p>	<p>2020年度の事業計画及び予算を報告するための評議員会の日時、場所、会議の目的事項が原案通り承認された。</p> <p>なお、新型コロナウイルス肺炎の影響次第では決議の省略の方式により評議員会を実施する可能性があることも含めて承認された。</p>
<p>&lt; 報告事項 &gt;</p>	
<p>1) 理事長、副理事長その他代表理事及び常務理事の職務執行に関する件</p>	<p>2019年9月1日から12月31日迄の理事長、副理事長その他代表理事及び常務理事の職務執行についてそれぞれ報告があった。</p>
<p>2) 2019年度助成金等交付辞退に関する件</p>	<p>2019年度の留学補助採択者の1名が交付を辞退したため、次点者を繰り上げて交付対象者とした旨の報告があった。</p>

3) 選考委員の選考報酬額の件	第20回評議員会で審議される選考委員の選考報酬額に関して、手取額の変更について諮る旨の報告があった。
4) 役員等の報酬に係る源泉徴収税の件	役員等の報酬を2020年から給与所得とし、日額表乙欄の税額を源泉徴収する旨の報告があった。

(7) 第20回評議員会(2020年3月13日)

※定款第29条に基づく決議の省略 ※定款第30条に基づく報告の省略

議 題	審議内容
<決議事項>	中村民夫理事の提案に対し、議決に加わることが出来る評議員の全員から文書により同意が得られた。
1) 選考委員の選考報酬額承認の件	選考委員の選考報酬額に関して、手取額の変更が承認された。
<報告事項>	中村民夫理事の提案に対し、みなし報告について議決に加わることが出来る評議員の全員から文書により同意が得られた。
1) 2020年度事業計画の件	第30回理事会で承認された2020年度の事業計画について報告があった。
2) 2020年度予算の件	第30回理事会で承認された2020年度予算について報告があった。
3) 40周年記念助成金等準備資金(4号財産)積立の件	第30回理事会で承認された40周年記念助成金等準備資金(4号財産)積立について報告があった。
4) 定期提出書類の件	第30回理事会で承認された内閣府公益認定等委員会へ提出義務のある2020年度事業計画書及び収支予算等に関する定期提出書類について報告があった。
5) 2020年度選考委員及び選考委員長の件	第30回理事会で承認された、新任選考委員2名に再任17名を合わせた19名の選考委員の選任と選考委員長として谷口克選考委員の選定について報告があった。
6) 次期諮問委員の件	第30回理事会で承認された、新任諮問委員5名に再任25名を合わせて次期諮問委員30名の選任について報告があった。

7) 役員等の報酬に係る源泉徴収税の件	役員等の報酬を2020年から給与所得とし、日額表乙欄の税額を源泉徴収する旨の報告があった。
---------------------	-----------------------------------------------

### 3. 公益目的事業に関する事項

#### ① 公益目的事業1 研究助成

##### (1) 2019年度研究助成の募集課題及び期間

第27回理事会（2019年2月15日開催）において次の課題を決定した。

- 1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究
- 2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能／病態解析に関する研究
- 3) 免疫／アレルギー／炎症の治療ならびに制御に関する研究
- 4) 循環器／血液疾患の病態解析／治療制御に関する研究
- 5) 創薬・創剤の基盤に関する研究
- 6) 創薬とその臨床応用に関する研究

第27回理事会（2019年2月15日開催）において、募集期間を次の通り決定した。

2019年3月1日 募集開始

2019年5月8日 WEB申請締切

##### (2) 2019年度研究助成の募集状況

###### 1) 研究助成金交付対象者募集要項の広報依頼

募集要項を医、歯、薬関係大学等研究機関136窓口、学会関係については下記の31学会、その他3機関宛てに送付し、関連各部門への広報を依頼した。また、本財団ホームページにも掲載した。

日本免疫学会	日本循環器学会	日本肥満学会
日本生化学会	日本分子生物学会	日本薬学会
日本遺伝学会	日本病理学会	日本農芸化学会
日本血液学会	日本ウイルス学会	日本細菌学会
日本薬理学会	日本アレルギー学会	日本内分泌学会
日本内科学会	日本皮膚科学会	日本癌学会
日本癌治療学会	日本化学療法学会	日本生理学会
日本消化器病学会	日本リウマチ学会	日本糖尿病学会
日本呼吸器学会	日本腎臓学会	日本動脈硬化学会
日本高血圧学会	日本薬物動態学会	日本神経科学学会
日本神経精神薬理学会		

2) 研究助成の応募申請及び交付状況

2019年度の応募申請数、交付数、交付率は次の通りであった。

領 域	2019年度				2018年度				2017年度			
	申請数	採択数	倍率	交付率 (%)	申請数	交付数	倍率	交付率 (%)	申請数	交付数	倍率	交付率 (%)
1 先端医療	70	14	5.0	20.0	73	11	6.6	15.1	90	13	6.9	14.4
2 ゲノム機能／病態解析	101	20	5.1	19.8	121	18	6.7	14.9	85	12	7.1	14.1
3 免疫／アレルギー／炎症	108	22	4.9	20.4	116	17	6.8	14.7	95	13	7.3	13.7
4 循環器／血液疾患	91	19	4.8	20.9	109	16	6.8	14.7	99	14	7.1	14.1
5 創薬・創剤の基盤	140	28	5.0	20.0	132	20	6.6	15.2	126	18	7.0	14.3
6 創薬とその臨床応用	90	18	5.0	20.0	93	14	6.6	15.1	112	16	7.0	14.3
研究助成(計)	600	121	5.0	20.2	644	96	6.7	14.9	607	86	7.1	14.2

※2019年度については115名の計画であったが、各領域の次点者を繰り上げて121名を採択して交付した。

※2018年度は90名の計画であったが、各領域の次点者を繰り上げて96名に交付した。

※2017年度は80名の計画であったが、各領域の次点者を繰り上げて86名に交付した。

(3) 選考委員会における審議

1) 2019年度の研究助成選考スケジュール

2019年	5月29日	選考委員に応募申請書及び採点表送付
2019年	6月28日	一次選考期限
2019年	7月26日	同点者再評価期限
2019年	7月31日	事務局において評価集計
2019年	9月13日	選考委員会開催
2019年	11月8日	研究助成金贈呈

2) 研究助成の評価を担当する選考委員

課 題	担当委員
1) バイオ技術を基盤とする先端医療に関する研究 (多能性幹細胞、免疫／幹細胞治療、移植、再生医療、遺伝子治療、分子標的治療等の研究)	非開示
2) バイオ技術を基盤とするゲノム機能／病態解析に関する研究 (ゲノム機能、遺伝子疾患解析、疾患のエピジェネティクス、SNP解析、分子疫学等の研究)	非開示

3) 免疫／アレルギー／炎症の治療ならびに制御に関する研究 (免疫制御、アレルギー、炎症、自己免疫疾患、免疫不全、老化、サイトカイン／ケモカイン、免疫調整薬、生物学的製剤等の研究)	非開示
4) 循環器／血液疾患の病態解析／治療制御に関する研究 (心疾患、脳血管疾患、血管系疾患、血液、糖尿病、高血圧、高脂血症、メタボリックシンドローム等の研究)	非開示
5) 創薬・創剤の基盤に関する研究 (創薬標的分子の探索／機能解析／治療制御、薬物送達、薬物代謝酵素、トランスポーター、イオンチャネル、分子イメージング等の研究)	非開示
6) 創薬とその臨床応用に関する研究 (薬物応答修飾因子の探索／機能解析、治療薬の探索／評価、医薬品の開発／評価、個別化医療、トランスレーショナルメディシン等の研究)	非開示

3) 採点は5段階評価で実施

4) 選考委員会（2019年9月13日開催）

各委員より提出された採点表を集計し、慎重かつ厳密な審査の結果、研究助成金の交付対象者を選出した。

(4) 理事会の承認決定

第29回理事会（2019年9月13日開催）において選考委員長より選考結果の報告があり、事業計画においては115名の計画であったが、各領域の次点者を繰り上げて研究助成金交付対象者121名を採択する旨及び交付金額を1件300万円、総額3億6,300万円とする旨を承認、決定した。

(5) 研究助成金の贈呈

2019年11月8日に贈呈式を開催し、研究助成金を交付対象者121名に交付した。  
(研究助成金交付対象者は附属明細書参照)

## ② 公益目的事業2 褒賞（持田記念学術賞）

(1) 2019年度持田記念学術賞の推薦依頼及び期間

日本免疫学会他31学会、本財団の理事・諮問委員及び持田記念学術賞の既受賞者に推薦要項・推薦書を送付して持田記念学術賞候補者の推薦を依頼した。

第27回理事会（2019年2月15日開催）において、持田記念学術賞の推薦期間を2019年5月20日迄とする事が決定された。

(2) 2019年度持田記念学術賞の推薦状況

持田記念学術賞については、日本生化学会、理事1名、諮問委員5名及び持田記念学術賞の既受賞者13名から重複推薦1名を含めた計19名の持田記念学術賞候補者の推薦があった。

(3) 選考委員会における審議

1) 2019年度の持田記念学術賞選考スケジュール

2019年	5月29日	選考委員に学術賞推薦書を送付
2019年	6月28日	学術賞一次審査期限
2019年	7月1日	事務局において一次審査集計
2019年	7月4日	選考委員長による二次審査対象者絞込み
2019年	7月26日	推薦コメント提出期限
2019年	9月13日	選考委員会開催
2019年	11月8日	持田記念学術賞贈呈

2) 各委員より提出された二次審査対象者に対する推薦コメントを基に意見交換した後、投票により上位2名を選出した。

(4) 理事会の承認決定

第29回理事会（2019年9月13日開催）において選考委員長より選考委員会の二次審査結果の報告があり、持田記念学術賞は東京大学大学院薬学系研究科浦野泰照教授及び大阪大学大学院医学系研究科竹田潔教授の2名とする旨、又、副賞の贈呈金額は1件1,000万円、総額2,000万円とする旨を承認、決定した。

(5) 持田記念学術賞の贈呈

2019年11月8日に贈呈式を開催し、持田記念学術賞を浦野泰照教授及び竹田潔教授の2名に贈呈した。

### ③ 公益目的事業3 留学補助

(1) 2019年度留学補助の募集課題及び期間

公益目的事業1の研究助成の募集と同様に行ったが、募集期間については以下の期間で募集した。

2019年	3月1日	募集開始
2019年	5月15日	WEB申請締切



(2) 2019年度留学補助の募集状況

1) 留学補助の募集要項の広報依頼

公益目的事業1の研究助成と同様の要領で行った。

2) 留学補助の応募申請及び交付状況

2019年度に応募申請数、交付数、交付率は次の通りであった。

領 域	2019年度				2018年度				2017年度			
	申請数	採択数	倍率	交付率 (%)	申請数	交付数	倍率	交付率 (%)	申請数	交付数	倍率	交付率 (%)
1 先端医療	24	4	6.0	16.7	16	3	5.3	18.8	17	3	5.7	17.6
2 ゲノム機能／病態解析	13	2	6.5	15.4	19	4	4.8	21.1	19	3	6.3	15.8
3 免疫／アルキ－／炎症	20	3	6.7	15.0	24	4	6.0	16.7	23	4	5.8	17.4
4 循環器／血液疾患	33	6	5.5	18.2	33	6	5.5	18.2	27	5	5.4	18.5
5 創薬・創剤の基盤	15	3	5.0	20.0	9	2	4.5	22.2	11	2	5.5	18.2
6 創薬とその臨床応用	11	2	5.5	18.2	7	1	7.0	14.3	15	3	5.0	20.0
留学補助(計)	116	20	5.8	17.2	108	20	5.4	18.5	112	20	5.6	17.9

※2019年度については1名の辞退者が生じたため、次点者を繰り上げて採択し、交付した。

※2018年度についても1名の辞退者があった。

※2017年度についても1名の辞退者があった。

(3) 選考委員会における審議

1) 2019年度の留学補助選考スケジュール

2019年	5月29日	選考委員に応募申請書及び採点表送付
2019年	6月28日	一次選考期限
2019年	7月26日	同点者再評価期限
2019年	7月31日	事務局において評価集計
2019年	9月13日	選考委員会開催
2019年	11月8日	留学補助金贈呈

2) 留学補助の評価を担当する選考委員は研究助成の項に記載した選考委員が担当

3) 採点は5段階評価で実施

4) 選考委員会(2019年9月13日開催)

各委員より提出された採点表を集計し、慎重かつ厳密な審査の結果、留学補助金の交付対象者を選出した。また、留学補助金交付対象者については辞退も考えられることから、繰り上げて交付対象者とする次点者、次々点者を事前に設定した。

(4) 理事会の承認決定

第29回理事会(2019年9月13日開催)において選考委員長より選考結果の報告があり、留学補助金交付対象者20名及び交付金額を1件50万円、総額1,000万円とする旨を承認、決定した。

(5) 留学補助金の贈呈

2019年11月8日に贈呈式を開催し、留学補助金を交付対象者20名に交付した。  
(留学補助金交付対象者は附属明細書参照)

(6) 留学補助金交付対象者の辞退及び繰り上げ

2019年度は留学補助金交付対象者1名の辞退者が生じたため、次点者を繰り上げて採択し、交付対象者とした。

#### ④ 公益目的事業4 研究者招聘助成

(1) 2019年度研究者招聘助成の推薦依頼及び期間

本財団の理事・諮問委員に申請要領・申請書を送付し、研究者招聘助成の推薦を依頼した。  
第27回理事会(2019年2月15日開催)において、研究者招聘助成の申請期間を2019年3月1日から4月12日迄とした。

(2) 研究者招聘助成の推薦状況及び理事会の承認・決定状況

本財団の理事・諮問委員より14件の推薦があり、第28回理事会(2019年5月17日開催)において全て承認された。  
(研究者招聘助成交付対象学会は附属明細書参照)

(3) 研究者招聘助成金の交付

第28回理事会(2018年5月17日開催)以降、交付対象14学会に対して1件あたり50万円、総額700万円を順次交付した。

(4) 新型コロナウイルス肺炎の影響による研究者招聘助成金の返金

新型コロナウイルス肺炎の影響により日本薬学会第140年会が中止となり、研究者招聘助成金50万円が返金された。また、第93回日本薬理学会年会が中止及び日本臨床試験学会第11回学術集会総会において研究者の招聘を電話会議に変更したため、次年度に研究者招聘助成金の一部が返金される見込みである。

## 4. 寄附に関する事項

### (1) 寄附の受け入れ

2019年度には公益目的事業費用として下記の2件の寄附があった。

寄附者	寄附金額
日本硝子産業(株)社長 渡邊 一雅 様	10万円
渡邊 宏男 様	10万円

## 5. 行政庁に関する事項

### (1) 2018年度事業報告及び決算に関する届出

提出日	提出先	提出書類
2019年 6月21日	内閣府公益認定等 委員会事務局	<p>WEBにて事業報告等に係わる下記の書類を提出</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 事業報告等に係る提出書</li> <li>2) 財産目録</li> <li>3) 役員等名簿</li> <li>4) 役員等名簿（閲覧用）</li> <li>5) 理事、監事及び評議員に対する報酬等の支給の基準を記載した書類</li> <li>6) 貸借対照表及びその附属明細書</li> <li>7) 損益計算書及びその附属明細書</li> <li>8) 事業報告及びその附属明細書</li> <li>9) 監査報告（及び会計監査報告）</li> <li>10) 別紙1 運営組織及び事業活動の状況の概要等について</li> <li>11) 別紙2 法人の基本情報及び組織について</li> <li>12) 別紙2 2. 組織</li> <li>13) 別紙3 1. 事業の一覧</li> <li>14) 別紙3 2. 個別事業の内容について</li> <li>15) 別紙4 別表A（1）収支相償の計算（50%を繰り入れる場合）</li> <li>16) 別紙4 別表B（1）公益目的事業比率の算定総括表</li> <li>17) 別紙4 別表B（5）公益目的事業比率算定に係る計算表 その1・その2</li> <li>18) 別紙4 別表C（1）遊休財産額の保有制限の判定</li> <li>19) 別紙4 別表C（2）控除対象財産</li> <li>20) 別紙4 別表C（3）公益目的保有財産配賦計算表</li> <li>21) 別紙4 別表D 他の団体の意思決定に関与することができる財産保有の有無</li> <li>22) 別紙4 別表E 情報開示の適正性</li> <li>23) 別紙4 別表F（1）各事業に関連する費用額の配賦計算表（役員報酬・給料手当）</li> <li>24) 別紙4 別表H（1）当該事業年度末日における公益目的取得財産残額</li> </ol>

		25)別紙4 別表H(2) 当該事業年度中の公益目的増減差額の明細 26)滞納処分に係る国税及び地方税の納税証明書 27)参考資料 監督上の処分等の一覧
2019年 7月9日	四谷税務署	損益計算書等の提出
2019年 6月12日	新宿税務署	損益計算書等の提出 2018年9月25日提出した租税特別措置法第40条の規定による譲渡所得等の非課税の承認申請書の添付資料として提出

(2) 2020年度事業計画及び収支予算に関する届出

提出日	提出先	提出書類
2020年 3月18日	内閣府公益認定等 委員会事務局	WEBにて事業計画書及び収支予算書提出 1 事業計画書 2 収支予算書 3 資金調達及び設備投資の見込み 4 理事会議事録